

令和6年度地域における大学振興・若者雇用創出事業評価委員会
議事要旨

日 時：令和6年6月6日（木）11:10～12:00

場 所：中央合同庁舎8号館7階デジタル田園都市国家構想実現会議事務局会議室

1. 議事

(1) 本申請枠：地方公共団体Aの審議

事務局から書面評価取りまとめ結果の説明があったのち、委員による意見交換を行った。
委員からの主な意見は次のとおり。

- ・計画作成支援事業への申請時は、大学Bには不安点が多い印象であったが、しっかりと連携も深めているという感触を得た。
- ・全体的に実態に沿った連携が具体化している印象を受けた一方で、企業との関わりなどは書面で読み取れないところがあるため、現地評価において、企業や地場産業のコミットがどのくらいあるのかを確認したい。
- ・大学Bは非常にリーダーシップが強くやる気があるが、人材育成等の面で他大学がどの程度の温度感で参加してもらえるかが非常に重要である。
- ・企業Cを中心に取り組むテーマは先例もなく難しいプロジェクトとなるため、国内外の英知を集める必要があると考える。
- ・地方大学は学生を集めることに苦労している部分があるが、今回の大学改革を通じて、改善することを期待している。他大学との連携、魅力的なプログラムをどこまで取り組めるのかにかかっている。

以上の議論を踏まえ、地方公共団体Aについて、現地評価でこれらの内容を確認することにした。

(2) 計画作成支援事業：地方公共団体Dの審議

事務局から書面評価取りまとめ結果の説明があったのち、委員による意見交換を行った。
委員からの主な意見は、次のとおり。

- ・本事業で何を開発して、どう地元産業に貢献していくのかを、もう少し明確に示してほしい。
- ・実施体制は整っており、申請内容に課題の記載はあるが、それに対する具体的な取組は今後詰めていく必要がある。
- ・大学Eと大学Fの連携のイメージが分からない。大学での人材育成のビジョンを明確にしてください、どのように連携をしていくのかについて確認したい。
- ・全体としては非常に魅力的な取組で良いが、大学改革について大学Eに依存している印象がある。大学Fの持つフィールドを使った実験等の連携ができるのか、経営等の分野の研究者とも連携ができるか等について気になった。

以上の議論を踏まえ、地方公共団体Dについて、面接評価でこれらの内容を確認することにした。

以上